

みんなが生きやすいジェンダー平等社会へ！

選択的夫婦別姓 訴訟原告の恩地いづみさんと懇談

大平喜信前衆議院議員は3月4日、広島市内で選択的夫婦別姓第2次訴訟原告の恩地いづみさんと懇談しました。

恩地さんは大平さんに「共産党の小池議員が今年の国会で菅首相から大事な答弁を引き出してくださった。その後いろいろあったが今毎日のように選択的夫婦別姓という言葉が飛び交う状況になっているのはいいことだと思います。ぜひ多くの人にその内容を知っていただきたい」と語りました。(写真)

大平さんは「同姓強制によって女性が被っている具体的な不利益や裁判にかかる思いも改めてお聞きしました。地方議会でも様々な動きがあります。私たちも国でも地方でも全力でがんばります」と語っています。



松江・出雲の市議選勝利へ 仁比さん駆ける



仁比聡平前参議院議員は6・7日、松江市と出雲市を訪れ、4月の市議選勝利を訴えました。

仁比さんは、松江市の3人の予定候補、出雲市の2人の予定候補を押し出すとともに、「地方選挙での日本共産党の勝利は、菅政権を追い詰め政治を変える議席」「地方選挙勝利とともに、来るべき総選挙での大平議席奪還を」と訴えました。(写真左は松江市議予定候補の舟木けんじ氏。右は後藤・吉井両出雲市議予定候補)

志位演説会後、8人が入党。山口では18歳の入党者

2月23日の中国ブロックオンライン志位演説会をカに「総選挙躍進特別期間」の取り組みが進んでいます。演説会後、2月末までに8人が入党、山口県党は、赤旗読者の息子さんがスマホでオンライン演説会を視聴。その後の入党の呼びかけに応えて入党しています。また、鳥取中東部地区では、行動支部、成果支部が1月に比べて1割増えています。